



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月9日

上場会社名 株式会社三十三フィナンシャルグループ  
 コード番号 7322 URL <https://www.33fg.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 三憲

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 青山 歩

TEL 059-357-3355

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	53,482	△3.3	4,522	38.2	4,611	107.9
2021年3月期第3四半期	55,290	5.8	3,273	△47.3	2,218	△47.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,662百万円 (△82.6%) 2021年3月期第3四半期 9,541百万円 (22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	170.37	98.67
2021年3月期第3四半期	78.61	47.38

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,518,915	237,916	5.2
2021年3月期	4,312,845	238,491	5.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 237,580百万円 2021年3月期 238,108百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	36.00	—	36.00	72.00
2022年3月期	—	36.00	—		
2022年3月期(予想)				36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	△3.3	3,300	△21.0	113.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 — 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社三重銀行

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(5)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	26,167,585 株	2021年3月期	26,167,585 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年3月期3Q	116,196 株	2021年3月期	139,776 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	26,047,185 株	2021年3月期3Q	26,027,659 株
------------	--------------	------------	--------------

(注1)期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式数(2022年3月期3Q105,200株、2021年3月期130,100株)を含めております。

(注2)期中平均株式数を算定するにあたり、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式の期中平均株式数(2022年3月期3Q110,089株、2021年3月期3Q131,337株)を控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第一種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円	円	円	円	円
2021年3月期	—	40.929	—	40.929	81.858
2022年3月期	—	41.286	—		
2022年3月期（予想）				41.286	82.572

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(5) 会計方針の変更 .....	6
(6) 追加情報 .....	6
(7) 企業結合等関係 .....	7
3. 2022年3月期 第3四半期決算短信の説明資料 .....	8
(1) 計数の表示方法について .....	8
(2) 損益状況 .....	9
(3) 金融再生法開示債権 .....	11
(4) 自己資本比率（国内基準） .....	11
(5) 有価証券の評価損益 .....	12
(6) 貸出金の残高 .....	13
(7) 預金等の残高 .....	13
(8) 個人預かり資産の残高 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社の連結子会社である株式会社三重銀行及び株式会社第三銀行は、2021年5月1日付で株式会社第三銀行を存続会社、株式会社三重銀行を消滅会社とする吸収合併を行い、株式会社三十三銀行となりました。

当社グループは、「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」という経営理念のもと、企業価値向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間（2021年4月～12月）におけるわが国の経済環境を振り返りますと、資源価格の高騰によるコスト増加が企業業績の下押し要因となりました。もっとも、緊急事態宣言などの解除により活動制限が緩和されるなか、サービス消費を中心に個人消費が持ち直したほか、東南アジアにおける新型コロナウイルス感染状況の改善を背景とした自動車部品などの供給制約の緩和により、企業の生産活動や輸出も増加に転じており、総じてみれば、景気は緩やかな持ち直しとなりました。

当社グループの主な営業基盤であります三重県においても、企業の生産活動は、世界的な需要拡大を受けた電子部品・デバイスで増産基調が続いたほか、自動車も部品供給制約の緩和により持ち直しに転じるなど底堅い推移が続きました。また、緊急事態宣言の解除などを背景とした人出の増加により、個人消費も緩やかに持ち直しつつあり、景気は回復に向けた動きが広がりました。

このような経営環境の下、当社の連結ベースの業績は次のようになりました。

経常収益は、株式等の売却益が減少したことなどから、前年同期比18億8百万円減少し534億82百万円となりました。経常費用は、貸倒引当金繰入額が減少したことなどから、前年同期比30億58百万円減少し489億59百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比12億49百万円増加し45億22百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比23億93百万円増加し46億11百万円となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期における連結財政状態につきましては、総資産は、前年度末比2,060億円増加し4兆5,189億円となりました。また、純資産は、前年度末比5億円減少し2,379億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金等（譲渡性預金含む）は、前年度末比89億円増加し3兆7,868億円、貸出金は、前年度末比419億円減少し2兆7,592億円、有価証券は、前年度末比280億円減少し8,143億円となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、2021年11月12日に公表いたしました通期の業績予想数値を上回って推移しておりますが、新型コロナウイルスの影響により信用コスト等が変動する可能性があることを考慮し、業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	535,489	810,173
コールローン及び買入手形	885	983
買入金銭債権	2,301	—
商品有価証券	983	692
有価証券	842,422	814,352
貸出金	2,801,203	2,759,240
外国為替	8,332	11,506
リース債権及びリース投資資産	29,426	28,009
その他資産	65,515	64,164
有形固定資産	25,208	24,942
無形固定資産	10,488	10,911
退職給付に係る資産	4,940	3,913
繰延税金資産	593	820
支払承諾見返	12,204	13,622
貸倒引当金	△27,151	△24,419
資産の部合計	4,312,845	4,518,915
<b>負債の部</b>		
預金	3,697,464	3,712,544
譲渡性預金	80,402	74,302
借入金	243,487	450,030
外国為替	35	2
その他負債	31,908	25,957
賞与引当金	1,237	12
退職給付に係る負債	891	123
役員退職慰労引当金	173	35
株式給付引当金	179	163
睡眠預金払戻損失引当金	324	274
偶発損失引当金	810	618
繰延税金負債	5,232	3,312
支払承諾	12,204	13,622
負債の部合計	4,074,354	4,280,998
<b>純資産の部</b>		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	79,416	79,416
利益剰余金	129,248	131,571
自己株式	△321	△265
株主資本合計	218,342	220,722
その他有価証券評価差額金	19,611	16,866
繰延ヘッジ損益	△37	△30
退職給付に係る調整累計額	191	21
その他の包括利益累計額合計	19,765	16,857
非支配株主持分	383	336
純資産の部合計	238,491	237,916
負債及び純資産の部合計	4,312,845	4,518,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
経常収益	55,290	53,482
資金運用収益	26,589	26,357
(うち貸出金利息)	21,402	21,150
(うち有価証券利息配当金)	5,015	4,546
役務取引等収益	9,988	10,070
その他業務収益	1,326	1,722
その他経常収益	17,386	15,331
経常費用	52,017	48,959
資金調達費用	643	422
(うち預金利息)	500	307
役務取引等費用	2,789	2,502
その他業務費用	1,581	5
営業経費	30,008	32,526
その他経常費用	16,994	13,502
経常利益	3,273	4,522
特別利益	30	4
固定資産処分益	30	4
特別損失	262	320
固定資産処分損	92	105
減損損失	169	157
退職給付制度改定損	—	56
税金等調整前四半期純利益	3,041	4,207
法人税、住民税及び事業税	2,517	625
法人税等調整額	△1,709	△989
法人税等合計	807	△364
四半期純利益	2,233	4,571
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15	△39
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,218	4,611

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	2,233	4,571
その他の包括利益	7,308	△2,908
その他有価証券評価差額金	7,292	△2,746
繰延ヘッジ損益	17	6
退職給付に係る調整額	△1	△169
四半期包括利益	9,541	1,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,517	1,703
非支配株主に係る四半期包括利益	24	△40



（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）会計方針の変更

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、収益の一部について、従来は受取時に一括して収益を認識しておりましたが、一定の期間にわたり履行義務が充足されるものであるため、経過期間に応じて収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（6）追加情報

（退職給付制度の一部改定）

当社の連結子会社である株式会社三重銀行及び株式会社第三銀行は、2021年5月1日付で合併に伴う制度統一の一環として、株式会社三重銀行の退職一時金制度を確定拠出年金制度へ移行しており、移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号 2016年12月16日）及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第2号 2007年2月7日）を適用し、確定拠出年金制度へ移行する部分について退職給付制度一部終了の処理を行いました。

これにより、当第3四半期連結累計期間において、56百万円の特別損失を計上しております。

（新型コロナウイルス感染症の影響）

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の（重要な会計上の見積り）に記載した内容から重要な変更はありません。

(7) 企業結合等関係

共通支配下の取引等

1. 企業結合の概要

(1) 株式会社三重銀行及び株式会社第三銀行の合併

① 結合当事企業の名称及び事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称：株式会社第三銀行

事業の内容：銀行業

(吸収合併消滅会社)

名称：株式会社三重銀行

事業の内容：銀行業

② 企業結合日

2021年5月1日

③ 企業結合の法的形式

株式会社第三銀行を吸収合併存続会社、株式会社三重銀行を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

株式会社三十三銀行

⑤ その他取引の概要に関する事項

本件合併は、これまで培ってきた株式会社三重銀行及び株式会社第三銀行の「強み」を完全融合し、金融仲介機能を高度化させることで、より一層地域経済に貢献できる「質の高い地域No.1銀行」を目指すとともに、合併シナジー効果を最大限に発揮し、経営の効率化を図ることで、強固な経営基盤を構築することを目的としております。

また、役員が活躍できる機会の拡大を図ることで、一人ひとりのモチベーションを高めるとともに、新たな企業価値の創造と更なる成長を目指してまいります。

(2) 三十三コンピューターサービス株式会社及び三重銀コンピューターサービス株式会社の合併

① 結合当事企業の名称及び事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称：三十三コンピューターサービス株式会社

事業の内容：システム運用の受託業務

(吸収合併消滅会社)

名称：三重銀コンピューターサービス株式会社

事業の内容：システム運用の受託業務

② 企業結合日

2021年10月1日

③ 企業結合の法的形式

三十三コンピューターサービス株式会社を吸収合併存続会社、三重銀コンピューターサービス株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

三十三コンピューターサービス株式会社

⑤ その他取引の概要に関する事項

グループ全体における経営資源の有効活用及び効率化・合理化を図り、経営基盤の強化を目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等として処理しております。

### 3. 2022年3月期 第3四半期決算短信の説明資料

#### (1) 計数の表示方法について

2021年5月1日付で、当社の連結子会社である旧三重銀行及び旧第三銀行は、旧第三銀行を存続会社、旧三重銀行を消滅会社として合併を行い、商号を三十三銀行に変更しております。

そのため、2021年12月期の会計上の三十三銀行の計数につきましては、消滅会社である旧三重銀行の2021年4月の計数は含まれておりません。

本決算説明資料における三十三銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しております。

- **2020年12月期、2020年12月末、及び2021年3月末（自己資本比率を除く）の計数**  
旧三重銀行及び旧第三銀行の計数を単純合算
- **2021年3月末（自己資本比率）の計数**  
旧三重銀行及び旧第三銀行のそれぞれの計数
- **2021年12月末の計数**  
三十三銀行の計数
- **2021年12月期の計数**
  - (A) 決算ベース  
2021年5月以降の三十三銀行の計数と、2021年4月の旧第三銀行の計数を単純合算
  - (B) 合算ベース  
2021年5月以降の三十三銀行の計数と、2021年4月の旧三重銀行及び旧第三銀行の計数を単純合算

## (2) 損益状況

## ①三十三フィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

		2021年12月期	前年同期比	2020年12月期
連	結 粗 利 益	35,220	2,331	32,889
	資 金 利 益	25,935	△ 10	25,945
	役 務 取 引 等 利 益	7,568	369	7,199
	そ の 他 業 務 利 益	1,716	1,971	△ 255
	国 債 等 債 券 損 益	542	1,706	△ 1,164
営	業 経 費	32,526	2,518	30,008
信	用 コ ス ト	990	△ 4,516	5,506
	貸 出 金 償 却	3	1	2
	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	△ 684	△ 3,787	3,103
	個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,835	△ 451	2,286
	偶 発 損 失 引 当 金 繰 入 額	—	△ 0	0
	そ の 他	6	△ 110	116
	偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益 (注)	170	170	—
	償 却 債 権 取 立 益	1	0	1
株	式 等 関 係 損 益	1,196	△ 3,055	4,251
そ	の 他	1,622	△ 25	1,647
経	常 利 益	4,522	1,249	3,273
特	別 損 益	△ 315	△ 84	△ 231
税	金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	4,207	1,166	3,041
法	人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	625	△ 1,892	2,517
法	人 税 等 調 整 額	△ 989	720	△ 1,709
法	人 税 等 合 計	△ 364	△ 1,171	807
四	半 期 純 利 益	4,571	2,338	2,233
非	支 配 株 主 に 帰 属 する 四 半 期 純 利 益 又 は 非 支 配 株 主 に 帰 属 する 四 半 期 純 損 失 (△)	△ 39	△ 54	15
親	会 社 株 主 に 帰 属 する 四 半 期 純 利 益	4,611	2,393	2,218

(注) 2021年12月期は偶発損失引当金の取崩額が繰入額を上回るため、偶発損失引当金戻入益を臨時損益に計上しております。

②三十三銀行【単体】

(単位：百万円)

	2021年12月期(A) 決算ベース	2021年12月期(B)		2020年12月期 合算ベース
		合算ベース	前年同期比	
業 務 粗 利 益	1	35,347		35,812
( 除 く 国 債 等 債 券 損 益 )	2	( 34,804 )		( 36,492 )
資 金 利 益	3	27,152		29,252
役 務 取 引 等 利 益	4	6,618		6,366
そ の 他 業 務 利 益	5	1,576		193
国 債 等 債 券 損 益	6	542		△ 679
経 費 ( 除 く 臨 時 処 理 分 )	7	29,669		29,130
人 件 費	8	15,192		15,193
物 件 費	9	12,998		12,250
税 金	10	1,477		1,686
実 質 業 務 純 益 (注1)	11	5,678		6,681
コ ア 業 務 純 益 (注2)	12	5,135		7,361
コ ア 業 務 純 益 ( 除 く 投 資 信 託 解 約 損 益 )	13	5,639		7,273
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 ( 1 )	14	△ 569		3,137
業 務 純 益	15	6,247		3,543
国 債 等 債 券 損 益	16	542		△ 679
臨 時 損 益	17	332		3,111
不 良 債 権 処 理 額 ( 2 )	18	844		2,414
貸 出 金 償 却	19	—		0
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	20	838		2,297
そ の 他	21	6		116
偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益 ( 3 ) (注3)	22	170		23
償 却 債 権 取 立 益 ( 4 )	23	0		0
株 式 等 関 係 損 益	24	1,067		5,497
そ の 他 臨 時 損 益	25	△ 61		3
経 常 利 益	26	6,579		6,655
特 別 損 益	27	△ 323		△ 417
税 引 前 四 半 期 純 利 益	28	6,256		6,237
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	29	32		2,057
法 人 税 等 調 整 額	30	△ 591		△ 1,338
法 人 税 等 合 計	31	△ 559		718
四 半 期 純 利 益	32	6,815		5,519
信 用 コ ス ト ((1)+(2)-(3)-(4))	33	104		5,528
				△ 5,378

(注1) 実質業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）

(注2) コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益

(注3) 偶発損失引当金の取崩額が繰入額を上回るため、偶発損失引当金戻入益を臨時損益に計上しております。

(3) 金融再生法開示債権  
三十三銀行【単体】

(単位：億円、%)

	2021年12月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年12月末
		2021年3月末比	2020年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	138	4	△ 22	134	160
危険債権	461	△ 24	64	485	397
要管理債権	57	9	△ 17	48	74
合計(A)	658	△ 10	25	668	633
正常債権	27,563	△ 458	△ 470	28,021	28,033
総与信残高(B)	28,221	△ 469	△ 445	28,690	28,666
総与信残高比(A)/(B)	2.33	0.00	0.13	2.33	2.20

(4) 自己資本比率(国内基準)

①三十三フィナンシャルグループ【連結】

(単位：億円、%)

	2021年12月末	2021年3月末	
		2021年3月末比	2021年3月末
(1) 自己資本比率	9.06	0.35	8.71
(2) 自己資本の額	2,162	23	2,139
(3) リスクアセット等の額	23,860	△ 700	24,560
(4) 総所要自己資本額	954	△ 28	982

(注) 「総所要自己資本額」は、「リスクアセット等の額」に4%を乗じた金額であります。

②三十三銀行【単体】

(単位：億円、%)

	2021年12月末	2021年3月末	
		旧三重銀行	旧第三銀行
(1) 自己資本比率	8.75	7.77	8.99
(2) 自己資本の額	2,058	1,015	997
(3) リスクアセット等の額	23,518	13,059	11,091
(4) 総所要自己資本額	940	522	443

(注) 「総所要自己資本額」は、「リスクアセット等の額」に4%を乗じた金額であります。

③三十三銀行【連結】

(単位：億円、%)

	2021年12月末	2021年3月末	
		旧三重銀行	旧第三銀行
(1) 自己資本比率	8.84	7.98	9.06
(2) 自己資本の額	2,105	1,061	1,016
(3) リスクアセット等の額	23,803	13,283	11,211
(4) 総所要自己資本額	952	531	448

(注) 「総所要自己資本額」は、「リスクアセット等の額」に4%を乗じた金額であります。

## (5) 有価証券の評価損益

## ①三十三フィナンシャルグループ【連結】

(単位：億円)

	2021年12月末				2021年3月末				2020年12月末						
	時 価	評価損益			時 価	評価損益			時 価	評価損益					
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損				
満期保有目的	49	△	0	—	0	49	△	0	—	0	49	△	0	—	0
その他有価証券	7,998	242	300	58	8,283	280	357	76	8,268	266	353	86			
株式	522	189	199	9	577	239	251	11	581	215	239	23			
債券	4,694	11	22	11	4,735	3	20	17	4,650	14	25	10			
その他	2,782	41	78	36	2,970	38	85	46	3,036	36	89	52			

## ②三十三銀行【単体】

(単位：億円)

	2021年12月末				2021年3月末				2020年12月末						
	時 価	評価損益			時 価	評価損益			時 価	評価損益					
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損				
満期保有目的	49	△	0	—	0	49	△	0	—	0	49	△	0	—	0
その他有価証券	7,985	345	402	56	8,288	391	460	69	8,272	405	474	68			
株式	508	278	283	4	563	331	333	1	566	309	314	4			
債券	4,694	28	38	9	4,735	23	39	16	4,650	36	45	8			
その他	2,782	39	81	41	2,989	36	87	51	3,055	59	114	55			

(6) 貸出金の残高  
三十三銀行【単体】

(単位：億円、%)

	2021年12月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年12月末
		2021年3月末比	2020年12月末比		
貸出金	27,717	△ 433	△ 434	28,150	28,151
うち中小企業等貸出残高	22,239	△ 326	△ 126	22,565	22,365
(中小企業等貸出比率)	( 80.2 )	( 0.0 )	( 0.8 )	( 80.2 )	( 79.4 )
うち消費者ローン	8,239	△ 81	△ 121	8,320	8,360
うち住宅ローン	7,934	△ 73	△ 110	8,007	8,044
うちその他ローン	305	△ 8	△ 10	313	315

(7) 預金等の残高

三十三銀行【単体】

(単位：億円)

	2021年12月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年12月末
		2021年3月末比	2020年12月末比		
預金等	38,022	52	△ 321	37,970	38,343

(注) 譲渡性預金を含んでおります。

(8) 個人預かり資産の残高

三十三銀行【単体】

(単位：億円)

	2021年12月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年12月末
		2021年3月末比	2020年12月末比		
個人預かり資産	35,067	720	832	34,347	34,235
個人預金	26,256	539	443	25,717	25,813
投資信託	1,005	△ 39	11	1,044	994
保険(注)	7,742	230	388	7,512	7,354
公共債	62	△ 11	△ 11	73	73

(注) 保険は、一時払個人年金保険及び一時払終身保険等の販売累計額であります。